

みやこんじょ



No.53

発行日 2018年12月1日
 発行 独立行政法人国立病院機構
 都城医療センター
 宮崎県都城市祝吉町5033番地1
 TEL 0986-23-4111

**基本
理念**

高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心して、信頼できる病院をめざします

呼吸器外科の紹介

国立病院機構都城医療センター（旧都城病院）はがん診療連携拠点病院であり、宮崎県西部で呼吸器外科治療が可能な数少ない施設です。

診療対象は肺がん、気胸、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、膿胸など外科治療が中心ですが、その他診断不明の胸部疾患、胸水や胸部外傷などにも対応しています。

診療科の体制は平成30年8月現在、スタッフ2名（巻幡、加藤）に加え、症例に応じて福岡大学病院から非常勤医師を招き手術を行い、地域内での治療完結に努めています。近年、内視鏡手術の低侵襲効果が広く巷間に知られるようになり、当科でも多くの胸腔鏡手術や小開胸手術を行っています。過度な低侵襲手術にこだわらず「安全第一」＋「確実な手術」＝「手術成績の向上」、ひいては「患者の皆様の予後の改善」を第一義と考えています。

また、手術のみならず術後化学療法や手術適応のない進行がんの化学療法、さらには放射線治療など他科と連携して集学的治療を行っています。また症例に応じて日常生活や仕事などを続けながら外来通院で化学療法を施行することも可能であり、がんと共存しつつ生活の質を維持することにも努めています。

外来診療は火、木曜日、初診時は原則として紹介状と予約が必要ですが、外来日以外や夜間でも救急担当医を介しオンコール体制で救急患者に対応しています。

検査は、CT、MRI、骨シンチグラフィー、気管支内視鏡、超音波気管支鏡（EBUS-TBNA；Endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspiration）、CTガイド下生検などを駆使して診断の精度向上を目指しています。PET-CT検査は補助検査として適宜連携病院に依頼しています。得られた医療情報を元に内科医、放射線科医とともに週1回の呼吸器カンファレンスで症例を検討し、各科横断的に密接な連携により診断から治療までを迅速に行えるよう心がけています。

近年、肺がんの薬物治療は発展著しく、従来の化学療法に加え、分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬などの出現により、現在では条件付きではありますがStage IV肺がんでも数年の余命が得られる時代となりました。セカンドオピニオンも受け付けていますので遠慮なくご相談下さい。

今後も宮崎県西部を中心とする患者の皆様によりよい医療を提供すべく、他基幹施設や開業医の先生方のご協力を仰ぎながら、呼吸器外科スタッフ一同、一層の努力を行っていきたいと思っています。ご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



呼吸器外科医長
巻幡 聡



呼吸器外科
加藤 文章

歯科口腔外科の紹介

国立病院機構都城医療センターの歯科口腔外科は常勤歯科医師3名、非常勤歯科医師3名の体制で日常診療を行っております。

歯科口腔外科としましては、口腔がんの治療を中心に行っております。進行がんに対しては放射線科と共同で腫瘍に対する栄養血管にカテーテルを挿入し、抗がん剤を局所に

投与する超選択的動注療法を放射線治療と並行して行っております。下記の患者さんの様に、舌全体を占める



る舌がんの患者さんも、超選択的動注療法と放射線治療、それと舌亜全摘術、遊離の腹直筋皮弁による再建術で、社会復帰できました。

また、歯周病の治療については、高度に進行した歯周病に対して、歯周組織再生術を行っております。また、最近増加傾向にある、インプラント周囲炎に対しても、欠損したインプラント周囲の骨の再生術を行っております。

また、保存不可能な歯のインプラントによる補綴治療も行っております。



矯正治療では、特殊なワイヤーを使い、通常の方法では手術となるような顎の偏位しているような症例も手術しないで、治療を行っております。



また、周術期口腔機能管理では、全身麻酔下での手術、放射線治療、化学療法を行う当院がん患者に対して、

- (1) 術後の誤嚥性肺炎のリスク軽減
- (2) 歯牙の破折や脱落などの気管内挿管時のリスク軽減
- (3) 術後の経口摂取再開の支援
- (4) 口腔咽頭、食道手術における術後合併症のリスク軽減
- (5) がん患者のQOL向上
- (6) がん患者治療成績向上を期待して、周術期口腔機能管理を行っております。平成29年度は526名の当院がん患者に対して実施しました。

また、当院では歯科治療が困難な方に対して、全身麻酔下、静脈鎮静下での歯科治療が可能です。障害者歯科学会の指導医の森主宜延先生が定期的に来られて、障害者の方の歯科治療を行っております。

また、口腔顎顔面領域の疼痛、知覚麻痺、顔面神経麻痺に対する治療も元鹿児島大学歯学部麻酔科の横山幸三先生により行っております。

メディカルキッズ医療体験ツアー

7月14日に中学生20名、15日に小学生20名を対象に第5回「メディカルキッズ医療体験ツアー」を行いました。都城市内の小中学校（小学校36校・中学校19校）へ応募を募り、中学校からは49名、小学校からは289名の応募があり、医療に対して興味関心が高いことが伺えました。

今年度も、身近に医療を感じてもらうために、「エコー体験」「縫合体験」「超音波凝固切開装置（ハーモニック）を使用した体験」、看護師体験では「採血体験」「包帯法」、その他「高齢者体験」「車いす体験」「BLS体験」などを企画しました。中学生、小学生ともに白衣や手術衣を着て、担当した医師、看護師、検査技師の説明を聞き、真剣な表情で体験に臨んでいました。様々な体験を通して、「医師になりたい」「看護師さんになりたい」「病院で働く色々な職業にも興味を持った」などの感想も聞かれました。医療の現場で働く職員の活動を知ると共に身体の不自由な方のサポートをする大切さや、救命に携わる勇気なども感じる体験になったのではないかと思います。最後に、院長より修了証が授与され、その表情から楽しく充実した体験ができたのではないかと感じました。今回のツアーに参加した小中学生の将来の選択の一つに医療職をあげられることを期待したいと思います。

（教育・研修部副部長 和氣 美紀）



採血体験



縫合体験



内視鏡体験



超音波凝固切開装置体験



BLS 体験



心電図体験



顕微鏡体験

看護学校オープンキャンパス

看護学校において、7月22日（日）と8月26日（日）にオープンキャンパスを開催いたしました。第1回目は97名、第2回目は72名と多くの皆様にご来場いただきました。

参加者の皆様はブースを自由に回りながら、「看護技術体験」をはじめ、「学生あれこれ相談」「個



別相談」「赤ちゃんだっこや妊婦さんの体験」「白衣試着会」を体験していただきました。

特に好評だったのが、「看護技術体験」と「寄宿舍見学」であり、体験をとおして看護に触れ、看護学校の生活を具体的にイメージし、看護の道を志す進路の参考にさせていただく機会となりました。

「白衣試着会」では憧れの白衣を装着し、「学生あれこれ相談」では和やかな

雰囲気の中で、具体的な学校生活の様子や受験勉強などの相談を受けることができました。

アンケートでは「自由行動が良かった」「楽しかった」「進路の参考になった」「学生への質問で色々なことがわかり、とても良かった」など、多くの反響を得ることができました。また、保護者の皆様からも、「学生の皆さんがしっかりされていて感心した。娘もこの学校で学ぶことができればうれしい」などの感想をいただきました。

次年度の開催時期については、アンケートの結果からも、受験生の進路決定のスケジュールに応じて検討し、本校を選択肢の一つとして選んでいただけるように調整を図っていきたいと考えています。また、ご都合のよい時間帯に参加できるように設定し、より多くの皆様に看護や本校に興味関心を高めていただくような楽しい催しを企画いたします。

（看護学校 間宮 みどり）

表：参加の状況

参加者	申し込み者	保護者（人）	合計
第1回	53人（56人）	44人（35人）	97人（91人）
第2回	42人（43人）	30人（38人）	72人（81人）
計	95人（99人）	74人（73人）	169人（172人）

※（ ）内は平成29年度

オープンキャンパス 2018

第1回:2018年7月22日(日)午後1時～4時
第2回:2018年8月26日(日)午後1時～4時
第3回:2018年10月20日(土)学校祭と同時開催

日時

場所 都城医療センター附属看護学校
〒885-0014 宮崎県都城市荒吉5033-1 (都城医療センター敷地内)

スケジュール

12:30～13:00	受付
13:00～13:15	学校紹介
13:55～14:50	模擬授業・看護技術体験 自由に見学・体験できます ちょっと知りたい体のサイン・体の向きをさせる技術って何？ 赤ちゃんのだっこや妊婦さん体験をしてみよう！ など 学生あれこれ相談 看護学校はどこなところ？先輩と直接話せるチャンス！
15:00～16:00	個別相談 ご希望の方はどうぞご参加ください 先生に聞きたいこと 白衣試着会 憧れの白衣を着てみよう 学生寮見学 学校へ徒歩2分!! ※寮見学は女性のみのご案内です

天候による変更については、前日ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

看護学校ってどんなところ？ 何が学べるの？
保護者の方や友達も一緒にどうぞ！

お申込み・お問い合わせはこちらまで (お電話でも、FAXでもお申し込みできます)
国立病院機構都城医療センター附属看護学校 オープンキャンパス担当
TEL:0986-22-3690 FAX:0986-51-5158
FAXの申し込み様式は高等学校へ配布しておりますが、HPからも取得いただけます
→→→ <http://www.mkango.ac.jp/>

NST（栄養サポートチーム）専門療法士教育研修を開催しました



昨年に引き続き、第2回NST専門療法士教育研修を平成30年7月9日～7月13日の5日間にわたり開催しました。参加者は都城市の病院から5名、小林市から1名、鹿児島県から6名、当院から2名の合計14名でした。参加職種は、看護師5名、薬剤師・管理栄養士が各4名、言語聴覚士1名でした。講師はNST専任（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士）の他、歯科医師、歯科衛生士、臨床検査技師、作業

療法士に加え、皮膚・排泄ケア認定看護師、緩和ケア認定看護師、感染管理認定看護師と、各部門の協力のもと無事に開催することができました。内容は専門性を生かした講義やワークショップ、濃厚流動食を使った実習や栄養補助食品の試飲、栄養機器関連の展示などで、症例検討や計算問題、実際に見たり体験をしたりすることで、実践的な理解につながり好評でした。全体を通して、「栄養支援」をテーマにそれぞれの職種の役割を理解し、様々な職種が異なる観点で栄養管理を捉え、刺激され、支え合いながら、チームとして力を発揮する過程を改めて実感できました。当院では栄養関連で日々困っていること、栄養に関する相談などをE-mailで受け付けており、ホームページの組織横断的チーム（NST栄養サポートチーム）から相談できるようになっております。地域の栄養管理に貢献できるよう今後も取り組みを継続してまいります。

（主任栄養士 廣石 さやか）

がんのリハビリテーション

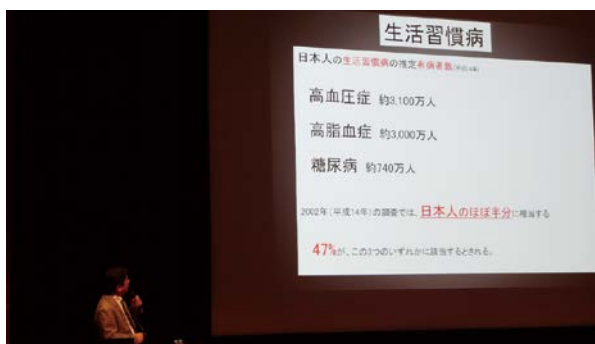
がんのリハビリテーション（以下がんリハ）とは、がんの種類や進行、がんに対して行う治療及びそれに伴って発生する副作用又は障害などについて十分な配慮を行った上で、がんや治療によって生じた疼痛、筋力低下、障害などに対して二次的障害を予防し、運動機能の低下や生活機能低下予防・改善することを目的として種々の運動療法、実用歩行訓練、日常生活活動訓練、物理療法、応用的動作能力、社会的適応能力の回復などを個々の症状に応じて行うものです。

当院では平成23年度12月より、がんリハを開設し、7年を経過しようとしています。現在、がんリハ研修を受講したスタッフは、医師4名・看護師3名・理学療法士4名・作業療法士2名がいます。がんリハの対象患者さんは入院に限られますが、地域医療連携室を通して在宅復帰の援助や多職種で共同し緩和ケアを目的としたリハビリも行っております。

これからも、患者さんやご家族に寄り添ったがんリハを実践することを目指していきたいと思っております。

（理学療法士長 藤内 律子）

第9回 市民フォーラム



る生活習慣の改善、そして健康な内に自らの最期の迎え方について身近な人と話しておくことが重要であるというお話をいただきました。

また、先生の医師としての豊富な経験から、一日一日を精一杯生きることの大切さについても話いただきました。

参加された方からは、「大変分かりやすく勉強になった」、「生活習慣を今後改善したいと思った」、「他の人にも聞かせたい」などの感想をいただきました。

今後も地域がん診療連携拠点病院として、地域の方々の健康の増進と、がんの予防及び早期発見の推進のための取り組みを継続していきます。

(経営企画係長 安永 朝誠)

第9回市民フォーラムを、都城市、都城保健所との共催で、平成30年9月15日にウェルネス交流プラザで開催しました。

今回のテーマは「生活習慣～健やかに生きるためには～」とし、講演を企画しました。また、講演前の時間を利用して、参加者の皆さんが日頃の健康に対する疑問に気軽に相談できるように、医師による健康相談、看護師、薬剤師、栄養士による各種相談コーナーを設けました。

講演では、初めに当院の消化器病センター長の駒田直人先生より「生活習慣からの肝疾患」という演題で、アルコール及び肥満が肝臓に与える影響についてお話しいただきました。次に、当院統括診療部長の後藤又朗先生より「生活習慣からの発がん」という演題で、食事や喫煙等の生活習慣ががんに関係しているかについて身近な視点からお話しいただきました。

特別講演では、公益社団法人鹿児島共済会南風病院院長の福永秀敏先生に「人生を楽しく健康に生きる～健やかに老い、穏やかに逝く～」というテーマで、高齢化社会において健康寿命を延ばすためにがんの早期発見、認知症の予防、運動によ



第10回 歯科診療における病診連携の夕べ

平成30年8月7日に歯科病診連携の夕べを開催しました。

都城医療センターにおける障害者歯科治療の経緯と経過について、鹿児島市で開業されている障害者歯科学会指導医の森主宣延先生に講演していただきました。

森主先生は平成26年より当院で障害者歯科を始める頃よりご指導いただいております。開業されているにも関わらず、月1～2回当院に来ていただき、実際に障害者歯科治療を行っていただいております。

先生がまず当院における障害者歯科の目的は、
1.地域の実質的な障害者歯科医療の医師、歯科医師の連携 2.一般歯科開業医医院が主体とした予防的対応 3.好ましい連鎖による障害児・者の安心できる口腔保健向上 4.障害児・者への口腔保

健への支えある意識の向上 5.三次歯科医療の必要性のない地域への5項目を挙げられ、早期からの予防の重要性を強調されました。

ほとんどの障害児が2歳以下から継続的^{うしよく}予防ならびに口腔健康管理指導も、治療対応なく適切に行える。この地域で早期の予防歯科の介入を確立し、歯科治療の必要のない地域となることを目指したいと述べられました。

都城地区で、障害児の出産から医科との連携を密にすることで、先生の理想とされる予防歯科の確立が可能となるのではないかという印象を持ちました。
(歯科口腔外科 田畑 雅士)



連携医療機関の

ご紹介

医療法人尚歯会

中央歯科

院長

濱田 邦朗 先生



所在地	宮崎県都城市牟田町8-2
TEL	TEL 0986-25-0007
診療科目	歯科・口腔外科・小児歯科
外来受付時間	8:30～12:30、14:00～18:00（平日） 8:30～12:30（土曜日）

先代が昭和56年11月に開業し、私は都城医療センター（旧国立都城病院）に平成6年4月から平成9年3月まで勤務していましたが、同年4月より中央歯科に帰り、現在に至っております。

当院は、一般歯科はもちろんですが、障がい児・者歯科、インプラント、ホワイトニング、矯正、訪問歯科などにも対応しており、毎日様々な患者様がいらっしゃいます。当院では、

患者様のお口を1口腔単位と考え、いつまでも御自分の歯でしっかりと噛めるようにということを念頭におき御要望に沿った形で治療を進めています。また、訪問歯科にも力を入れており、来院できない患者様の治療にも積極的に取り組んでいます。

最近が高齢化に伴い、特に高齢者の基礎疾患を伴う方が多いため医療連携の重要性が高まっていると感じています。

（誤嚥性）肺炎予防に関わる気道感染予防・口腔機能低下予防、噛み合わせのバランスによる転倒防止、周術期口腔ケアにおける癌の手術前後・化学療法治療前後・放射線治療前後の口腔ケアも行っています。

都城医療センターには私も旧国立都城病院時代に在籍していましたが、当時から地域の開業医の先生方から口腔外科に多くの患者様の紹介がありました。都城医療センターは、平成21年に地域医療支援病院として正式に認定されましたが、昔も今も変わらず地域の中核病院として特殊医療や救急医療など、果たす役割はとて大きいと感じています。

これからますます超高齢化社会に向かっていきます。健康寿命ということがよく言われますが、最近、口腔の状態と様々な病気との因果関係が密接に関係していることが解ってきていますので、そういった情報の啓発活動など連携していくことが重要ではないかと思っています。

最後になりますが、「病は口から」と、口腔ケアの重要性・噛み合わせの重要性をもっと知って頂き、一緒に取り組んでいけたらと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。



外来診療科別週間担当医当番表

独立行政法人
国立病院機構 都城医療センター

【全診療科 初診予約制】受付時間 8:30 ~ 11:00

【平成 30 年 10 月 31 日】

診療科名等			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 ※2	初診	血液 肝	加藤 順也	前田 宏一	休診		
	再診		前田 宏一	加藤 順也	前田 宏一 加藤 順也	前田 宏一 加藤 順也 一也 徳	前田 宏一 加藤 順也
			阿南 隆一郎	阿南 隆一郎	阿南 隆一郎		阿南 隆一郎
循環器内科							
呼吸器内科	初診		今津 善史	今津 善史	今津 善史	今津 善史	今津 善史
	再診						
呼吸器外科	初診		手術日	巻 幡 聡 巻 幡 文 章	手術日	巻 幡 聡 巻 幡 文 章	手術日
	再診						
小児科	午前	1 診	中川 緑	柳 邊 秀一	明 利 聡 瑠	片 山 太 輔	斐 孝 俊
		1 診	柳 邊 秀一	中川 緑	片 山 太 輔	明 利 聡 瑠	柳 邊 秀一
	午後	2 診	明 利 聡 瑠	斐 孝 俊		中川 緑	片 山 太 輔
		3 診			シナジス外来 (9月~3月)		
外科	初診		緒 方 健一	手術日	田 中 洋	手術日	緒 方 健一
	再診		田 中 洋		森 永 剛 司	後 藤 又 朗	杉 原 栄 孝
乳腺専門外来							岩 瀬 弘 敬 (第四金曜日)
消化器病センター			初診	駒 田 直 人 土 肥 容 子 (第一・三・五火曜日)	藤 原 利 成	駒 田 直 人	土 肥 容 子
			再診	駒 田 直 人	駒 田 直 人	藤 原 利 成	駒 田 直 人
N S T 外来				駒 田 直 人 (第二・四火曜日 14:00~16:00)			
整形外科	初診		吉 川 教 恵	吉 川 教 恵	手術日	上 通 一 師 黒 木 智 文	吉 川 教 恵
	再診		吉 川 教 恵 (再診のみ)	吉 川 教 恵 (再診のみ)		吉 川 教 恵	吉 川 教 恵 (再診のみ)
リウマチ科			吉 川 教 恵 (再診のみ)	吉 川 教 恵 (再診のみ)			
泌尿器科	1 診		手術日	山 崎 丈 嗣	山 崎 丈 嗣	慶 田 喜 文	山 崎 丈 嗣
	2 診				慶 田 喜 文	川 上 一 誠 福 元 渉	慶 田 喜 文
皮膚科※3				中 山 文 子 (午前)		中 山 文 子 (午前)	中 山 文 子 (午前)
産婦人科	初診		徳 永 修 一	古 田 賢	徳 永 修 一	古 田 賢	古 田 賢
	再診		後 藤 夏 美	徳 永 修 一	古 田 賢	古 田 賢	徳 永 修 一
耳鼻咽喉科	一般		外 山 勝 浩 津 曲 省 吾	外 山 勝 浩 津 曲 省 吾	外 山 勝 浩 津 曲 省 吾	外 山 勝 浩 津 曲 省 吾	手術日
	難聴外来		津 曲 省 吾 (14:00~17:00)				
放射線科	放射線治療		加 治 屋 芳 樹	加 治 屋 芳 樹	加 治 屋 芳 樹	加 治 屋 芳 樹	加 治 屋 芳 樹
	画像診断		日 野 祐 一	日 野 祐 一	日 野 祐 一	日 野 祐 一	日 野 祐 一
歯科口腔外科	一般		田 畑 雅 士 新 屋 俊 明 西 久 保 舞	田 畑 雅 士 新 屋 俊 明 西 久 保 舞	田 畑 雅 士 新 屋 俊 明 西 久 保 舞	田 畑 雅 士 新 屋 俊 明 西 久 保 舞	手術日
	ペインクリニック※6						横 山 幸 三 (午後)
	障がい者歯科						森 主 宣 延 (月1, 2回)
がんサポート外来※4							岩 崎 竜 馬
緩和ケア外来※4							林 章 敏 (第四金曜日)
特 殊 外 来			マザークラス (第二土曜日・第四月曜日)	リンパ浮腫外来 フットケア外来	助産師相談室 (午後)	リンパ浮腫外来	ストーマ外来(午後) 母乳外来 遺伝カウンセリング外来 (14:00~15:00)

【その他の特殊診療】

診療科名等			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内 視 鏡 セ ン タ ー			上 部 消 化 管 下 部 消 化 管	上 部 消 化 管 下 部 消 化 管 気 管 支	上 部 消 化 管 下 部 消 化 管	上 部 消 化 管 下 部 消 化 管 (午後より盛大) 気 管 支	上 部 消 化 管 下 部 消 化 管
透 視 撮 影 (胃)			外 科	外 科	外 科	外 科	外 科
骨塩ドック(骨粗鬆症検査)【予約制(14:00以降)】			整 形 外 科	整 形 外 科	整 形 外 科	整 形 外 科	整 形 外 科

- ※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。また各診療科の診察日以外については、急患のみ対応となります。
- ※2 医療機関の方へ：血液内科の初診については、事前に診療FAX連絡票と共に、最新の血液データを送ってください。
- ※3 皮膚科の診察時間は、火曜、木曜、金曜の9時30分～13時となっております。
- ※4 がんサポート外来、緩和ケア外来については、事前に相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。
- ※5 セカンドオピニオンの受診についても、予約制となっております。相談支援センターまでご連絡頂きますようお願いいたします。
- ※6 ペインクリニックは歯科口腔外科を受診された患者様が対象となります。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893

独立行政法人
国立病院機構

都城医療センター

(地域がん診療連携拠点病院・
地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864

E-mail/syomu-2@hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行：広報委員会